



# 家本藤川義興

## 前在言の中極 波西屋鑑書録

此書は藤川義興の著するものである。藤川氏は、前在言の中極に於て、波西屋鑑書録を著し、その中、思公傳を記す。思公傳は、思公の事蹟を記すものである。藤川氏は、思公傳を記すに、思公の事蹟を詳しく述べ、思公の徳行を称する。藤川氏は、思公傳を記すに、思公の事蹟を詳しく述べ、思公の徳行を称する。藤川氏は、思公傳を記すに、思公の事蹟を詳しく述べ、思公の徳行を称する。

思公傳 後人替名之次方

藤川義興の著するものである。藤川氏は、前在言の中極に於て、波西屋鑑書録を著し、その中、思公傳を記す。思公傳は、思公の事蹟を記すものである。藤川氏は、思公傳を記すに、思公の事蹟を詳しく述べ、思公の徳行を称する。藤川氏は、思公傳を記すに、思公の事蹟を詳しく述べ、思公の徳行を称する。藤川氏は、思公傳を記すに、思公の事蹟を詳しく述べ、思公の徳行を称する。

藤川義興の著するものである。藤川氏は、前在言の中極に於て、波西屋鑑書録を著し、その中、思公傳を記す。思公傳は、思公の事蹟を記すものである。藤川氏は、思公傳を記すに、思公の事蹟を詳しく述べ、思公の徳行を称する。藤川氏は、思公傳を記すに、思公の事蹟を詳しく述べ、思公の徳行を称する。藤川氏は、思公傳を記すに、思公の事蹟を詳しく述べ、思公の徳行を称する。

藤川義興の著するものである。藤川氏は、前在言の中極に於て、波西屋鑑書録を著し、その中、思公傳を記す。思公傳は、思公の事蹟を記すものである。藤川氏は、思公傳を記すに、思公の事蹟を詳しく述べ、思公の徳行を称する。藤川氏は、思公傳を記すに、思公の事蹟を詳しく述べ、思公の徳行を称する。藤川氏は、思公傳を記すに、思公の事蹟を詳しく述べ、思公の徳行を称する。

藤川義興の著するものである。藤川氏は、前在言の中極に於て、波西屋鑑書録を著し、その中、思公傳を記す。思公傳は、思公の事蹟を記すものである。藤川氏は、思公傳を記すに、思公の事蹟を詳しく述べ、思公の徳行を称する。藤川氏は、思公傳を記すに、思公の事蹟を詳しく述べ、思公の徳行を称する。藤川氏は、思公傳を記すに、思公の事蹟を詳しく述べ、思公の徳行を称する。

藤川義興の著するものである。藤川氏は、前在言の中極に於て、波西屋鑑書録を著し、その中、思公傳を記す。思公傳は、思公の事蹟を記すものである。藤川氏は、思公傳を記すに、思公の事蹟を詳しく述べ、思公の徳行を称する。藤川氏は、思公傳を記すに、思公の事蹟を詳しく述べ、思公の徳行を称する。藤川氏は、思公傳を記すに、思公の事蹟を詳しく述べ、思公の徳行を称する。

藤川義興の著するものである。藤川氏は、前在言の中極に於て、波西屋鑑書録を著し、その中、思公傳を記す。思公傳は、思公の事蹟を記すものである。藤川氏は、思公傳を記すに、思公の事蹟を詳しく述べ、思公の徳行を称する。藤川氏は、思公傳を記すに、思公の事蹟を詳しく述べ、思公の徳行を称する。藤川氏は、思公傳を記すに、思公の事蹟を詳しく述べ、思公の徳行を称する。